

## 令和元年度第1回北杜市ふるさと創生会議 議事録

1. 会議名 令和元年度第1回北杜市ふるさと創生会議
2. 開催日時 令和元年8月28日(水) 午後2時～午後4時
3. 開催場所 北杜市役所 北館3階大会議室
4. 出席者
  - (1) 北杜市ふるさと創生会議委員  
山田輝夫、小林喜文、藤原真理、三井麻里子、仲田莉里亜、溝口誠紘、羽根田篤、小山愛実理、浅川幸彦、利根川昇、高橋達郎、浅川幹、三井一公、小林昭治、梶原雅己、藤原真史、萩原久、原和之、秋田七美、山本佳里
  - (2) 北杜市  
市長、副市長、教育長、企画部長、総務部長、市民部長、福祉部長、生活環境部長、産業観光部長、建設部長、議会事務局長、教育部長、監査委員事務局長、農業委員会事務局長、会計管理者、明野総合支所長、須玉総合支所長、高根総合支所長、長坂総合支所長、小淵沢総合支所長、白州総合支所長、武川総合支所長、政策秘書課長、企画課長、財政課長、総務課長、総務部地域課長、総務部地域課ふるさと創生担当
5. 会議次第
  - (1) 開会
  - (2) 委嘱状の交付
  - (3) 市長あいさつ  
委員自己紹介  
職員自己紹介
  - (4) 経過報告
  - (5) 委員長、副委員長の選任
  - (6) 議事
    - ①北杜市総合戦略に係る事業の平成30年度達成状況について
    - ②北杜市総合戦略に係る事業の進捗状況(平成27年度～平成30年度)について
    - ③第2次北杜市総合戦略プレ計画改訂について
    - ④その他
  - (7) 閉会
6. 公開・非公開の別 公開
7. 傍聴人の数 0人
8. 審議内容

■同（６）議事①及び②について、説明がなされた。

事務局説明後、委員である甲陵高校の仲田委員、北杜高校の溝口委員から各学校での総合戦略に関する取組事業について報告を行った。

■質疑応答

【委員】

資料１のP６の交流と観光の農産物直売所来場者数について、どのように算出しているのか？

【産業観光部長】

資料にあるように、市営の３つの施設からの報告により算出している。

【委員】

資料１P２３の生活環境プロジェクトの防災体制の整備というものの中で、防災体制の強化というものがあるが、お聞きしたいのは自主防災組織の関係です。今、結成に向けては一生懸命行っているということだが、結成した後のアフターフォローというものをどのようにしているのかをまず聞きたい。あと、資料の見方として聞きたい。資料のP１７の雇用創出プロジェクトの中の中段の市の特色を生かした企業等の支援誘致の中の企業型農業生産法人への補助支援について、KPIのH３１のところは、累計３１社とあるが、実績値は３３社とあり減っている形になっているがどのように資料として見ればよいのか。

【総務部長】

まず、自主防災組織については、順調に増えてきているということにはなるが、平成３０年では６３組織とあるが、まだまだ目標の８０組織には届いていないという状況にある。この内容について、早くに作って、名前だけ、組織だけというものもある。このため、地域において出前塾や減災リーダー養成など取り組んでいる。昨年も１０箇所、本年度も１０箇所を既に行っているという状況。市では防災計画になるが、自主防災組織では、地区防災計画をつくらうということになっているので、この防災計画の作り方を県と連携して地区と作らうということを検討している。

【事務局】

２点目は、事務局からお答えします。KPIが３１社ということで、実績値が３３社という状況は、結果として既に目標に対し実績が達成しているという状況で表記している。

【委員】

現在、国の事業なのでは、KPIというよりは、成果指標とかアウトカムなどと言って、事業を達成するためには、必ずスケジュールといったものが出される。４月から何をする、６月から何をするトスケジュールにより、PDCAを回して成果が問われるので、３月ごとに報告書を提出する。この資料は１年の成果としての資料だと思うが、３月ごとなどスケジュールを管理したものはあるか。

【事務局】

3月ごとのスケジュールやローリング作業は、この総合戦略については行っていない。毎年度が終了したところで、地域課と事業課において、実績や来年度以降の取り組み状況をヒアリングの中で検証している。ヒアリングの中で、どのようなスケジュール感で行っていくという話も当然出てくるが、定期的な管理という点からもそうした取組も参考にしていきたい。

**【委員】**

これは、地方創生の一環の中で出ていると思うが、国においても、スケジュールの管理を間違えると補助対象外になると言われている。基本的に1年間の中で行うが、途中でPDCAを回してどこがいけないのか、来年どうしようという検証ができると思うが、3月ごととは言わないが、半期ごとでの検証はないということでのよいのか。

**【事務局】**

半期での検証ということではないが、各年度年が変わったところで、12月末時点での数値を事業課から報告してもらっている。特段ヒアリングは実施していないが、中間報告という形で事業課から数値を確認している。

**【委員】**

年度は、4月から3月だと思うが、12月末だと中間報告になるのか。

**【事務局】**

中間値という意味合いが、年度の終わりに差し掛かっているということで、見込値を把握するというので12月末現在の数値を報告してもらっている。

**【委員】**

最後に要望ということでお願いしたい。いろいろ組織等で課題がらと思うが、できれば9月ぐらいに一度進捗を検証して、10月からの進行管理をしていただければと思う。

**【事務局】**

要望ありがとうございます。第1次についての検証方法は、これまで説明をしているとおり。1年度中、事業課については進捗管理し、地域課においても中間値等を確認している。

ただ、ご意見のとおり、若干時期的に検討したほうが良いのではないかとということだと思う。

第2次以降も総合戦略が継続していくこととなるので、参考にしたいと思う。

**【委員】**

資料のP15の一番下の移住定住セミナーの開催や相談会の実施があるが、取組実績のところ平成27年度からの累計開催数が149回、951世帯とあり、このうち、110世帯、235人が移住していることから効果が出ていると感じている。そうはいつでも、移住までいたらなかった人もいるわけで、そうした方へのその後のアプローチは何かしているか。また、それに基づく検証により対策を講じていることだと思うが、北杜市を選らばなかった。選べ切れなかった理由。個別のケースで色々あると思うが、その対応策をどのように考えているか。

我々、金融機関はこうしたセミナーで連携できるものがあるかもしれない。

**【事務局】**

移住定住セミナーで来場した人に対しては、次回以降の情報提供の有無を確認し、いないという人もいれば、いるという人もいる。いない人にあまりしつこくできない部分もあるので、いるという人には、メール等で次回の相談会などの情報提供を行っている。

また、北杜市を選らばれなかった人の理由などは、中々収集が難しい。しかし、相談会等の中で、北杜市に移住する場合の心配事などを聞く機会がある。こうした情報を積み上げて、必要であれば原課に報告し、事業化等ができるかどうかの検討も必要だと考えている。

**【委員】**

若者応援プロジェクトの子育て世代の充実の全般に対してになるが、子供の数が減ってきている中で、北杜市では、色々な子育て支援があり助けていただいている。

他の市町村に比べて、とても充実している。

両親が共働きだったり、1年で保育園に預ける人がいて、今までは、3歳までは預けないで保護者同士のつながりという機会があった。

子供が少なくなると共働きが多くなるとそうした繋がりが希薄になりつつある。

子供が少なくなっているからこそ、教育委員会や子育て応援課、ほくとっこ元気課など繋がりを強くしていただきたい。

**【福祉部長】**

0歳から3歳までは、つどいの広場などにより、保護者の繋がりができているのではないかと思う。それ以降の年長時や小学生になれば子供を通じてのみの繋がりにになってしまう。市としてもそうした年代の交流が図られるような施策を講じていきたい。

**【議長】**

議事①及び②については、こちらでよろしいか。

**【委員】**

異議なし。

■同（6）議事③について、説明がなされた。

■質疑応答

**【委員】**

今回の策定では、見える化ということをしている。ここから本計画にしていく中で広報というものはどのようにしていくのか。わかりやすい資料を作っていくということで、現段階で何か考えていることはあるか。

**【政策秘書部長】**

資料にあるような分厚い資料をいかにわかりやすくしていくかですが、中柱を中心に概要版をホームページでというような形になってくるが、ホームページでは、見れない環境の方もいるので、窓口での配布や各戸への簡易なものになると思うが周知できる方法を考えていきたい。次回のふるさと創生会議の折には、その辺もお示しをして御意見を伺いたいと思っている。

**【委員】**

前回の会議で、市長が職員ががんばっている取組を市民にしてもらいたいと言っていた。ぜひとも多くの市民に周知できるようお願いしたい。

**【委員】**

非常に行政の方が一生懸命取り組まれているということが良く分かる。なので行政だけでなく

市民ひとり一人が意識をもっていくという働きかけを行っていくということも見える化の観点から良いのではないかと。

**【政策秘書部長】**

市民一人ひとりがというお話をいただいたが、その前提としては市民の皆様に理解をしてもらうということが大事だと考えている。特に第1次と同じように市民アンケートを実施し資料の後ろにつけさせてもらっている。そのほか、事業のミニアンケートや飛び出せ市長と語る集いにより、色々な団体と意見交換を行っている。そうした中で、市民の関心を上げていきたい。

**【議長】**

議事③については、こちらでよろしいか。

**【委員】**

異議なし。

**【その他】**

移住定住・しごと相談窓口について

移住支援金について

以上

午後4時35分終了